OPTEX

# ワイヤレスセキュリティシステム　WDT-515
# ワイヤレスセキュリティシステムⅡ　WDT-515Ⅱ
# ワイヤレスセキュリティシステムⅢ　WDT-515Ⅲ

## 人体検知機付送信器　取扱説明書

このたびは本製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みください。
この取扱説明書は、保守・管理のために、システムの管理をされる方が、大切に保管してください。

### はじめに

人体検知機送信器　WDT-515、WDT-515Ⅱ、WDT-515Ⅲは、それぞれワイヤレスセキュリティシステム／ワイヤレスセキュリティシステムⅡ／ワイヤレスセキュリティシステムⅢの受信器と組み合わせて使用し、侵入者等をセンサで検知することにより、小電力セキュリティ電波を使用して、電話回線などに自動通報機等を介して、緊急通報を行うための装置です。
その他の用途での使用はしないでください。

## 1．特　長

○小電力セキュリティシステムの無線設備

この製品は、小電力セキュリティシステムの無線設備としての技術基準適合認定を受けております。技術基準適合認定品等の自動通報機、送信機等に接続することで、電話回線等を利用して、外部へ連絡することが出来ます。

○工事の簡略化

侵入検知センサ等の信号を入力して無線で送信します。センサから受信器までの長距離の配線をワイヤレス化することが出来ますので、工事が簡単です。

○送信器の判別機能

モード・ゾーン設定スイッチを、設定していただくことにより、受信器の表示灯でどの送信器が送信したのかを知ることができます。

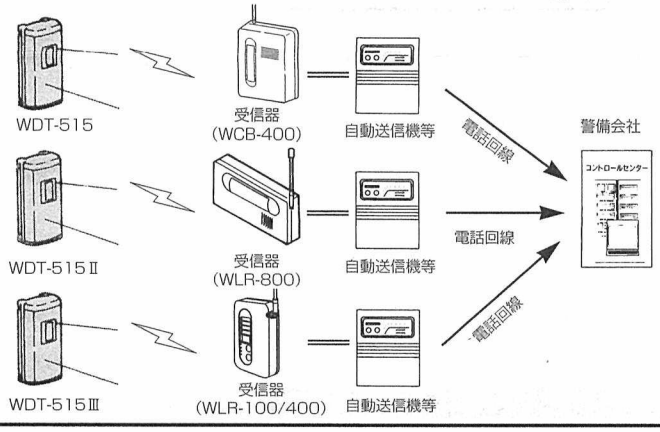
○送信器と受信器との間を常時監視（スーパーバイズド機能）

一定時間ごとに送信器から受信器に異常のないことを信号により送信します。万が一、電波状況が悪くなり電波が届かない場合や送信器が破壊、盗難される等の異常がおきた場合、受信器の表示で知ることができます。

○標準電波到達距離　100m（但し周囲の状況により距離が短くなることがあります。）

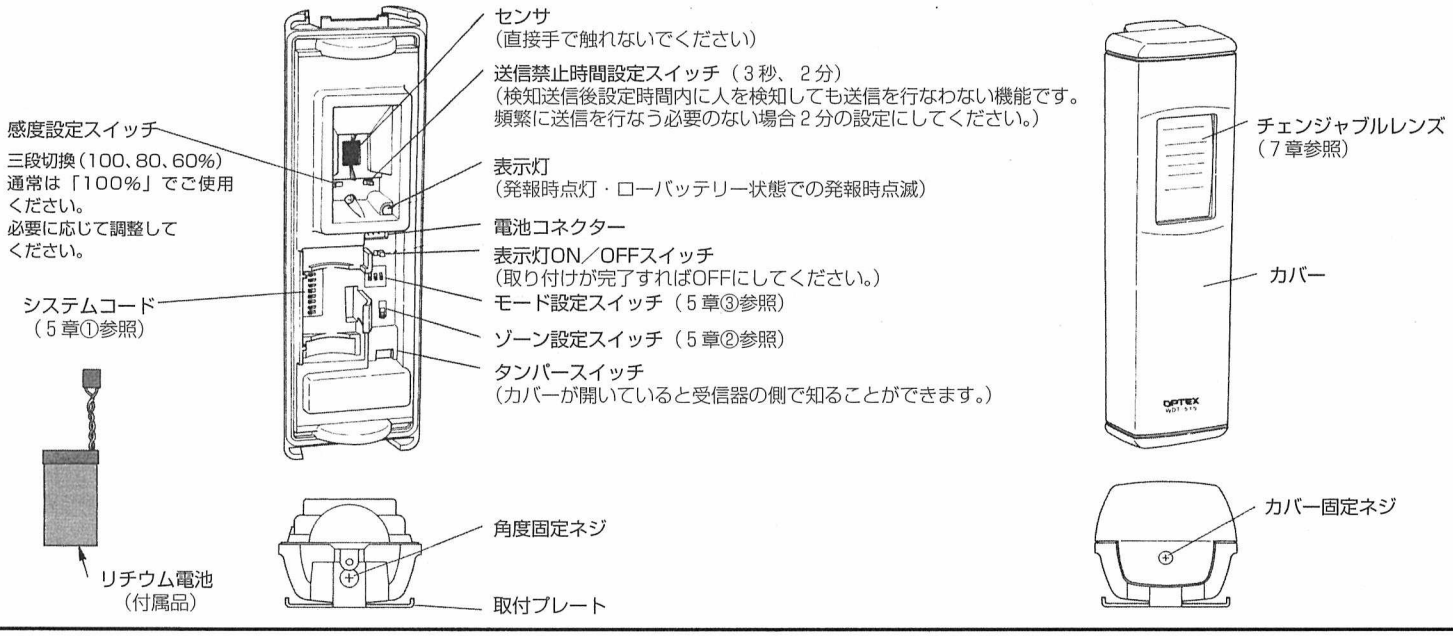
市販の特定小電力トランシーバー・コードレス電話とほぼ同等の電波到達距離が得られます。

## 2．電気通信回線設備への接続




この無線装置は電気通信回線に接続して使用するものです。ただし受信器は自動送信機等（技術基準適合認定品に限ります。）を介して電気通信回線設備に接続して使用する為、利用する回線の種類は特定しておりません。受信器の自動送信機等（認定品）への接続は、受信器の無電圧接点出力端子（受信器の取扱説明書をご覧ください。）を自動送信機等（認定品）のセンサ入力端子等へ接続してご使用ください。

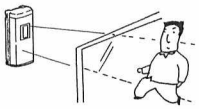
## 3．各部の名称



# 4. 正しくご使用いただくために

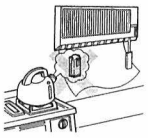
ワイヤレスセキュリティシステム／ワイヤレスセキュリティシステムⅡ／ワイヤレスセキュリティシステムⅢをご使用になる際は、下記の項目のご注意ください。

### 1．遮光物体



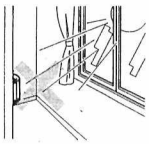
検知エリアが遮られるような場所には取り付けないでください。
（透明ガラス等も遮光物体となります。）

### 2．温度変化・汚れ



蒸気、油煙、エアコンからの温・冷風の直接あたる場所へは取付けないでください。
（急激な温度変化は誤報の原因に、汚れは検知しにくくなります。）

### 3．光

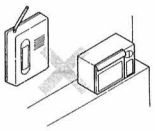


エリア正面から太陽光、車のヘッドライトが直接当たる場所は避けてください。（誤報の原因になります。）

### 4．通過方向

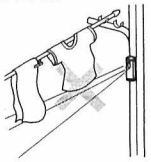
必ず絵の様に、エリアを横切る（くぐる）様に送信器を取付けてください。

### 5．他の電機製品



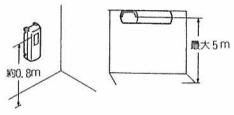
次の製品からは、1m以上話して使用してください。
TV・ラジオ・パソコン・電子レンジ・冷蔵庫・モータを使用した機器（センサの誤報の原因になります。）

### 6．障害物



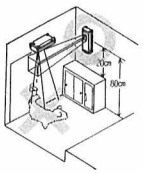
エリア内に洗濯物、樹木の枝、カーテンなど（風などで）動く物がないこと。又、物（ガラスも含む）でかくされた後ろは検知しません。
（動く物は誤報の原因になります。）

### 7．壁取付と天井取付




壁取付は、床から0.8m、無目・天井取付時は床から5m以内に取付けてください。

### 8．ペット・小動物




送信器の人体検査センサは、犬・猫・ねずみ・小鳥等も検知する場合があります。
ペットのいる場所では壁取付けをおすすめします。
（床から80cm、棚から20cm以上に取付け。）

### 9．取り付け方向

壁取付時はレンズが上になるように取り付けてください。

無目取付時はレンズが左になるように取り付けてください。

取付プレートに刻印で示された矢印が上を向くように取り付けてください。

10．次の条件で使用しますと、電波の到達距離が100mより短くなることがあります。
- ○送信器と受信器の間にスチールドア、鉄筋コンクリートなど金属製の障害物がある場合。
- ○送信器もしくは受信器の取り付け面が金属製の場合。
- ○放送局などの強い電波を出しているところの近く。
- ○高圧線などの電気的ノイズが多い所の近く。
- ○受信器のアンテナがいっぱいまでのびていない場合。

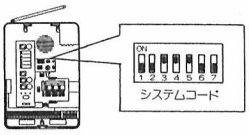
11．機器本体を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

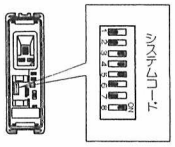
12．期待本体が汚れた場合は、中性洗剤を含んだ柔らかい布でふき取ってください。
（シンナー、ベンジンなどの化学薬品は表面を傷めることがあります。）

13．受信器にありますバッテリー表示灯が点滅し始めますと間もなく電池が無くなります。速やかにご購入頂きました警備会社、工事店等にご連絡ください。

# 5. お取り付けの前に

①システムコードについて
送信器・受信器とも同じ設定にしてください。




（注）8ビット目のスイッチは必ずONでご使用ください。

ご近所でワイヤレスセキュリティシステムを同じシステムコードで使用しておりますと混信を起こし誤動作することがあります。混信があった場合はシステムコードを変更してください。

## WDT-515の場合

②ゾーン設定スイッチの使い方
受信器の表示、及び音色で識別できるように各送信器のゾーン設定を行ってください。

ゾーン1　ピンポン

ゾーン2　ポロロン

ゾーン3　ピツピツ

ゾーン4　ピピツピピツ

上記のように受信器の音色が変わり表示灯による表示をします。又メモリー機能により外出警戒時の侵入ゾーンがわかるようになっています。

③モード設定スイッチの使い方
“A.（防犯）来客”、“B.在宅”、“C.外出”の内、必要なモードのみをONに設定してください。

例　不意の訪問者を自動で知るために玄関先に。
侵入者を威嚇するために裏口に。

このように設定を行ないますと
防犯来客放置時→玄関からの来客を知ることができます。
在宅警戒時→裏の戸からの侵入者を威嚇し玄関からの来客へは警報音の発信は行いません。
外出警戒時→どちらからの侵入も警報音で威嚇します。

“A.（防犯）来客”、“B.在宅”、“C.外出”モードの内、受信器側で設定したモードによっては動作してほしくない場所に取り付けた送信器があった場合そのモードのみをOFFにすることによって、システムの動作を制約することができます。

## WDT-515Ⅱ、WDT-515Ⅲの場合

モード設定スイッチとゾーン設定スイッチの組み合わせにより受信できるループ番号が決まります。送信器の使用できるモードは“B.在宅”、“C.外出”です。“A.来客”は使用できませんので必ずOFFにしてください。

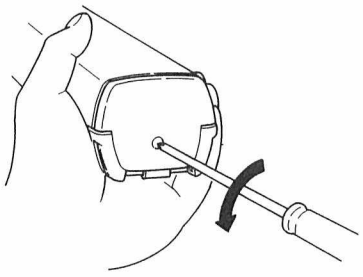
・受信器がWLR-400のときには、ループ5～8の設定は、使用しないでください。

ご注意　モード設定スイッチは“B.在宅”、“C.外出”どちらかのみONにしてください。

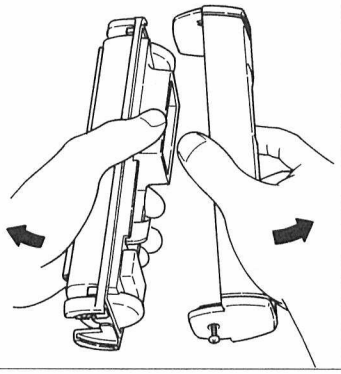
| | | モード設定スイッチ | |
|---|---|---|---|
| | | B（在宅警戒）モード | C（外出警戒）モード |
| ゾーン設定スイッチ | ゾーン1 | ループ1 | ループ5 |
| | ゾーン2 | ループ2 | ループ6 |
| | ゾーン3 | ループ3 | ループ7 |
| | ゾーン4 | ループ4 | ループ8 |

# 6. お取り付け方法

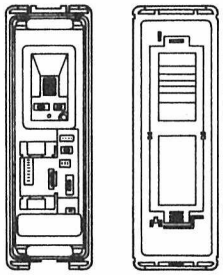
①カバー固定ネジをはずします。



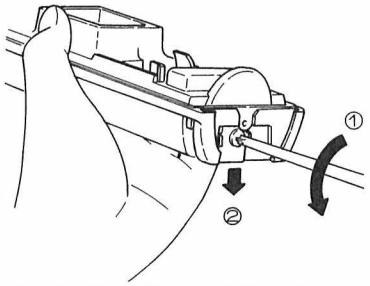
②カバーをはずします。



③エリアの設定、及びスイッチ類の設定を行ってください。
（４章、及び６章参照）

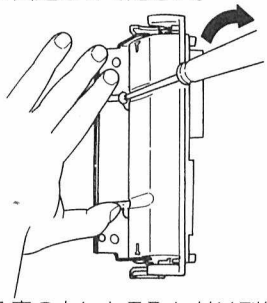


④角度固定ネジをゆるめます。
（両端とも）



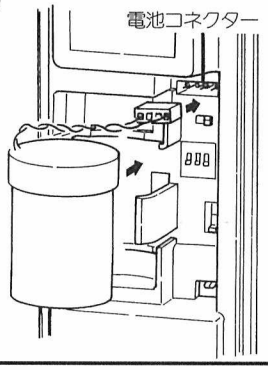

そして、取付プレートを引き出します。

⑤取り付けプレートを付属のビスで固定してください。

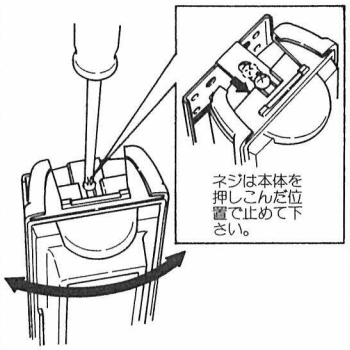


５章の右にある取り付け型紙をご使用ください。

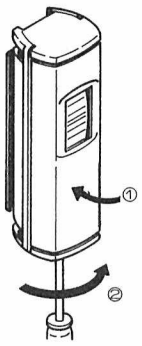
⑥電池をつなぎます。
（コネクターには方向があります。）




⑦エリアの調整を行い、角度固定ネジで固定してください。



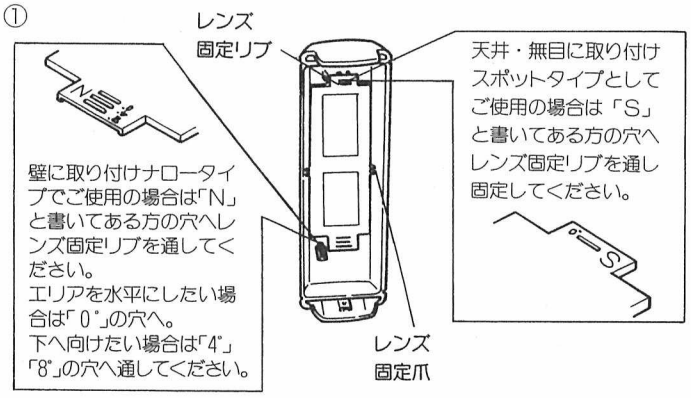

⑧カバーをしめてカバー固定ネジで固定してください。



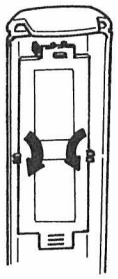

# 7. エリアの確認

本機種は、スポットタイプ・ナロータイプ共用であり、レンズをはめ換えることにより、おのおののエリアの切り換えが行なえます。

①

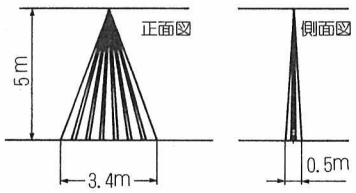



②

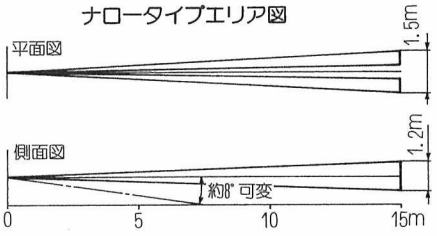


レンズ固定爪にパチンとはめて固定してください。

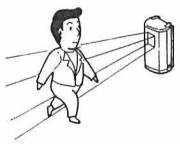
スポットタイプエリア図




ナロータイプエリア図

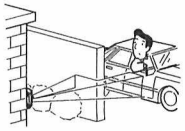


天井取付
床面近くで水平にゆっくり手を動かしてください。動作表示灯が点灯すればエリアがあります。

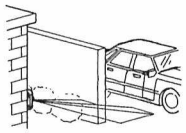


壁面取付
ゆっくり歩いて、どの位置で動作するか確認ください。
動作表示灯が点灯すればエリアがあります。

エリアは出入り口の近くになるようにしてください。エリアが出入口からはなれると、人がエリアのない所を通り抜けて検知しないことがあります。



検知エリアの先は必ず壁、ブロックなどでさえぎるようにしてください。エリアがもれていると思わぬ遠くのものでも検知する恐れがあります。



どうしてもエリアが外へもれる場合、レンズの取り付け位置を「４°」又は「８°」とし、エリアを下へ向けてください。

# 8. 電池の交換

システムを使用されている際、以下の様な場合（ローバッテリー表示）は、電池の交換を行なってください。

①送信器の表示灯ON／OFFスイッチをONにし、発報させると通常点灯する表示灯が点滅する。
受信器がWCB-400の場合、警報音の音程が変（１オクターブ下がる）になる。

※リチウム電池を新品に交換してもローバッテリー表示が出ることがあります。この場合は電池を活性化させる為に数回連続発報させて下さい。通常の状態にもどります。

当商品で使用しておりますリチウム電池は、一般販売されているものではございません。
従って、リチウム電池が消耗した場合はご購入頂きました警備会社又は工事店等にお問い合せください。

（注）指定の電池以外は使用しないでください。
指定電池：3.6Vリチウム電池　TL-5920-B

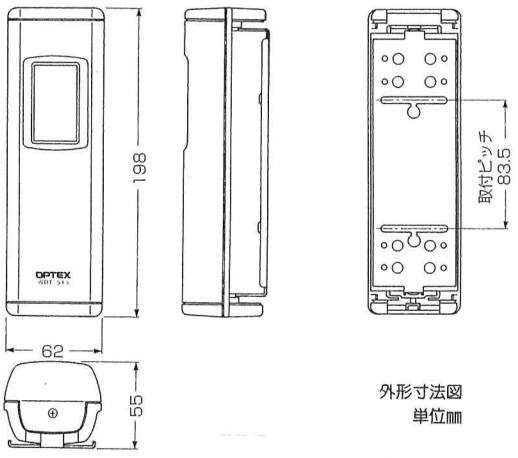
# 9. 異常時の点検について

| | | | |
|---|---|---|---|
| まったく動作しない | 電池は正しく接続されていますか。 | ⇨ | 電池コネクターを正しく接続してください。 |
| | 電池が消耗していませんか。（受信器のバッテリ表示灯が点滅していませんか。） | ⇨ | ご購入いただきました警備会社、又は工事店にお問いあわせください。 |
| | 電池を接続してから約一分たちましたか。 | ⇨ | 約一分間お待ちください。 |
| | エリアを遮る物は有りませんか。 | ⇨ | 遮る物を取り除くか、遮られない所に取り付けるようにしてください。 |
| | 表示灯ON／OFFスイッチがOFFになっていませんか。 | ⇨ | OFFになっていた場合、動作はしていますがWDT-515のみでは動作の確認はできません。 |
| | システムコードは受信器と同じ設定になっていますか。 | ⇨ | 1～7番目までを同じ設定にし8番目はONに設定してください。 |
| | エリアの向き、設定距離は適切ですか。 | ⇨ | エリア図をご確認の上、再調整してください。（7章参照） |
| ときどき動作しない。 | エリアの向き、設定距離は適切ですか。 | ⇨ | エリア図をご確認の上、再調整してください。（7章参照） |
| | レンズ表面に汚れ等有りませんか。 | ⇨ | 柔らかい布でふき取ってください。 |
| | 送信禁止時間の設定が2分に設定してありませんか。 | ⇨ | 一度動作してから約2分後動作していれば、正常です。 |
| 誤動作をする。 | エリア内に犬や猫等の小動物が出入りしていませんか。 | ⇨ | 壁取り付けにする等小動物を検知することのないようにしてください。（3章参照） |
| | エリア内に洗濯物、樹木の枝カーテン等動く物はありませんか。 | ⇨ | エリアからはずれるように動く物を移動するか、エリアの調整を行ってください。 |
| | エリア正面から太陽光、車のヘッドライト等の直射はありませんか。 | ⇨ | エリア正面からの光の直射を避けられるように取り付け直してください。 |
| | 取り付け場所が急激な温度変化を起こしていませんか。（例えばエアコンの吹き出し口の近く） | ⇨ | 急激な温度変化の起こらない場所に取り付け直してください。 |
| | 取り付け部が動いていませんか。 | ⇨ | しっかりと固定できる場所に取り付け直してください。 |
| | エリア内に急激な温度変化を起こす物（ストーブ、ファックス等）はありませんか。 | ⇨ | エリアからはずれるように温度変化を起こす物を移動するか、エリアの調整を行ってください。 |
| | ご近所でワイヤレスセキュリティシステムを使われていませんか。（ご近所の信号を受信器が受けている可能性があります。） | ⇨ | システムコードの設定変更を行ってください。 |
| 外部への連絡を行わない。 | 自動通報機は動作していますか。 | ⇨ | 受信器と自動通報機装置の接続が正しく行えているか確認して下さい。 |

以上の点検を行っても原因のわからないときには、お買いあげ店もしくは弊社へご相談ください。

# 10. 仕　様

| | | 小電力セキュリティシステムの無線設備 人体検知器付送信器 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | ワイヤレスセキュリティシステム | ワイヤレスセキュリティシステムⅡ | ワイヤレスセキュリティシステムⅢ |
| | 受信器 | WDT-515 | WDT-515Ⅱ | WDT-515Ⅲ |
| | | WCB-400（別売） | WLR-800（別売） | WLR-100／400（別売） |
| PIR部 | 検知方式 | パッシブインフラレッド方式 | | |
| | 最大検知距離 | 5m（スポット）／15m（ナロー）切換 | | |
| | 感度切換スイッチ | 3段階（100・80・60%） | | |
| | 動作表示灯 | 検知時点灯（スイッチにより消灯可能） | | |
| 送信器部 | 送信出力 | 10mW $^{+20\%}_{-50\%}$ | | |
| | 送信時間 | 2.5秒以下 | | |
| | 使用周波数 | 426MHz帯 | | |
| | 電波形式 | F2D | | |
| | 標準電波到達距離 | 100m（但し周囲の状況により距離が短くなることがあります。） | | |
| | 送信禁止時間設定スイッチ | 2段設定切換（3秒・2分） | | |
| 設定機能 | モード設定数 | 4モード | － | － |
| | | A.来客 B.在宅 C.外出 D.非常火災 | － | － |
| | 受信ゾーン設定数 | 4ゾーン 1ゾーン | － | － |
| | 受信ループ設定数 | － | 8ループ | 4ループ／1ループ |
| | システムコード切換（混信防止） | 128通り | | |
| | 電源 | リチウム電池：DC3.6V（付属） | | |
| | 電池寿命 | 約8年（1日100回送信） | | |
| | 使用温度範囲 | −10℃～+50℃ | | |
| | 使用場所 | 屋内・屋外（防雨構造） | | |
| | 重量 | 約370g | | |
| | 付属品 | 取り付けビス ヨビ4×L20 2本、リチウム電池 3.6V 1個 | | |




外形寸法図
単位㎜

※仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
（お断り）この商品は侵入者を検知し、警報を発するもので盗難防止器ではありません。万が一発生した盗難事故による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

## 保　証　書　WDT-515/WDT-515Ⅱ/WDT-515Ⅲ

| | |
|---|---|
| 保証期間<br>※お買い上げ年月日<br><br>より<br>1年間 | 販売店名<br>※ |
| お客様<br>ご住所（〒　　）<br><br>（TEL　.　.　）<br>お名前 | <お願い><br>○※印の欄はお買い上げ時に必ず記入を受けてください。記入無き場合、本書は無効となります。<br>○本書は大切に保存してください。再発行はいたしません。 |

<保証規定>

Ⅰ．保証の範囲

1．取り扱い説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理いたします。お買い上げ店もしくは弊社へ本書を添えてお申し付けください。
2．この保証は全面に記載された製品について、日本国内に限り通用いたします。

Ⅱ．保証の条件

次に該当する故障は、保証期間（お買い上げ日より1年間）であっても実費にて修理を申し受けることがあります。
1．誤った取り扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障。
2．災害など不可抗力による損傷。
3．本書前面に必要事項の記入が無い場合。また本書の提示がない場合。


オプテックス株式会社
本　　社 〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5丁目8番12号
TEL（077）579-8620 FAX（077）579-8170
東京営業所 〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿ｸﾞﾘｰﾝﾀﾜｰﾋﾞﾙ19F
TEL（03）3344-6476 FAX（03）3344-5734



'01.5 5908950 MADE IN JAPAN